

第6節 産業振興について

問 19 農畜産業において、これから特に何に重点をおいて取り組むべきとお考えですか。

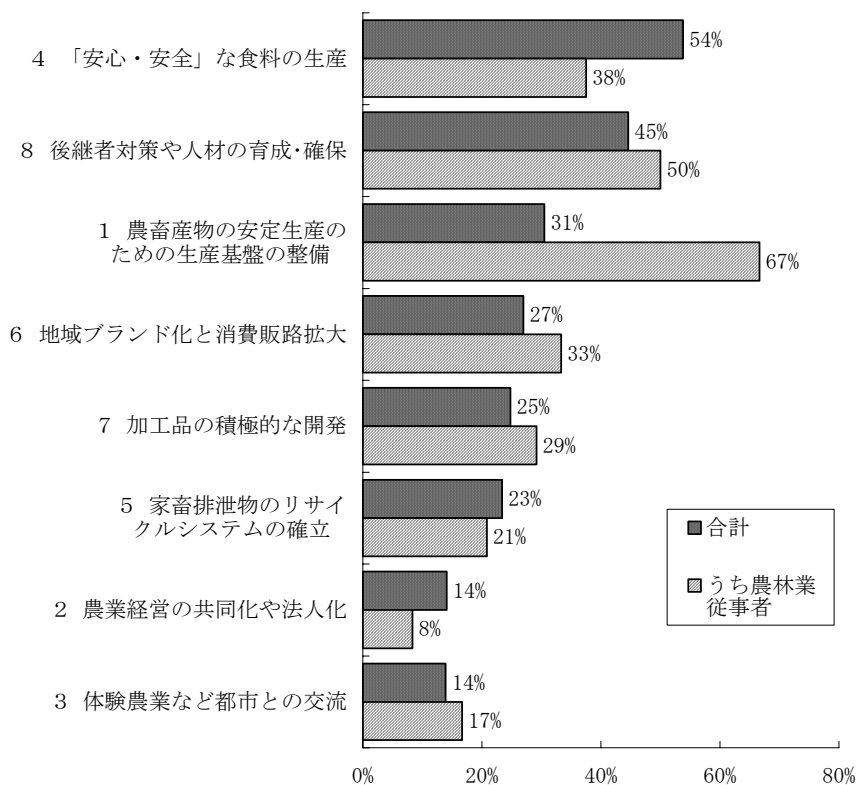
【〇は3つまで】

	問3 職業（再区分）						合計	
	農業		林業		農業+林業		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 農畜産物の安定生産のための生産基盤の整備	12	66.7%	4	66.7%	16	66.7%	350	30.5%
2 農業経営の共同化や法人化	2	11.1%	0	0.0%	2	8.3%	162	14.1%
3 体験農業など都市との交流	1	5.6%	3	50.0%	4	16.7%	159	13.9%
4 「安心・安全」な食料の生産	7	38.9%	2	33.3%	9	37.5%	617	53.8%
5 家畜排泄物のリサイクルシステムの確立	4	22.2%	1	16.7%	5	20.8%	268	23.4%
6 地域ブランド化と消費販路拡大	7	38.9%	1	16.7%	8	33.3%	310	27.0%
7 加工品の積極的な開発	5	27.8%	2	33.3%	7	29.2%	285	24.8%
8 後継者対策や人材の育成・確保	9	50.0%	3	50.0%	12	50.0%	512	44.6%
9 その他	1	5.6%	0	0.0%	1	4.2%	10	0.9%
10 わからない	1	5.6%	0	0.0%	1	4.2%	99	8.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	43	3.7%
合計	18	100.0%	6	100.0%	24	100.0%	1,147	100.0%

農畜産業で重点的に取り組むべきことについては、「安心・安全な食料の生産」が54%で最も割合が高く、次いで「後継者対策や人材の育成・確保」が45%、「農畜産物の安定生産のための生産基盤の整備」が31%などとなっています。

農林業従事者では、「農畜産物の安定生産のための生産基盤の整備」が67%で最も高い割合となっています。

農畜産業で重点的に取り組むべきこと（割合が高い順に掲載）



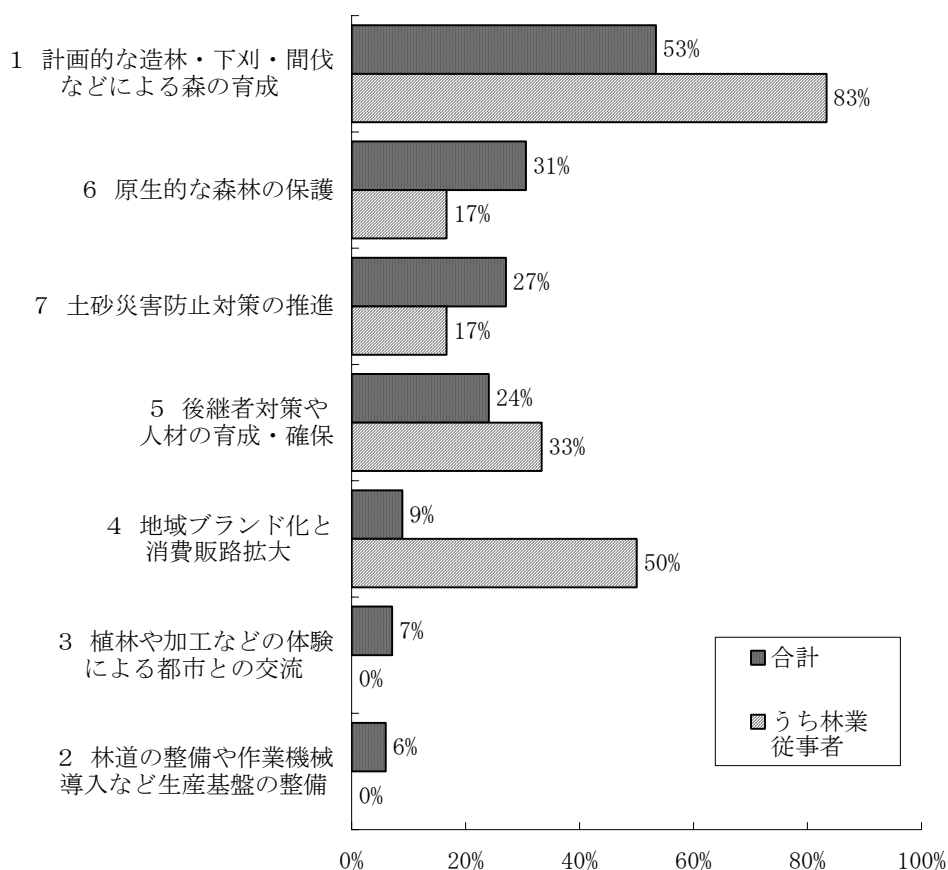
問 20 林業や林野行政において、これから特に何に重点をおいて取り組むべきとお考えですか。【〇は2つまで】

	問 3 職業（再区分）						合計	
	農業		林業		農業＋林業		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 計画的な造林・下刈・間伐などによる森の育成	12	66.7%	5	83.3%	17	70.8%	613	53.4%
2 林道の整備や作業機械導入など生産基盤の整備	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	69	6.0%
3 植林や加工などの体験による都市との交流	2	11.1%	0	0.0%	2	8.3%	82	7.1%
4 地域ブランド化と消費販路拡大	2	11.1%	3	50.0%	5	20.8%	102	8.9%
5 後継者対策や人材の育成・確保	2	11.1%	2	33.3%	4	16.7%	276	24.1%
6 原始的な森林の保護	4	22.2%	1	16.7%	5	20.8%	351	30.6%
7 土砂災害防止対策の推進	5	27.8%	1	16.7%	6	25.0%	311	27.1%
8 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.6%
9 わからない	3	16.7%	0	0.0%	3	12.5%	155	13.5%
無回答	1	5.6%	0	0.0%	1	4.2%	56	4.9%
合計	18	100.0%	6	100.0%	24	100.0%	1,147	100.0%

林業や林野行政で重点的に取り組むべきことについては、「計画的な造林・下刈・間伐などによる森の育成」が53%で最も割合が高く、「原始的な森林の保護」や「土砂災害防止対策の推進が続いています。

林業従事者では、「計画的な造林・下刈・間伐などによる森の育成」が83%に、「地域ブランド化と消費販路拡大」が50%にのびります。

林業や林野行政で重点的に取り組むべきこと（割合が高い順に掲載）



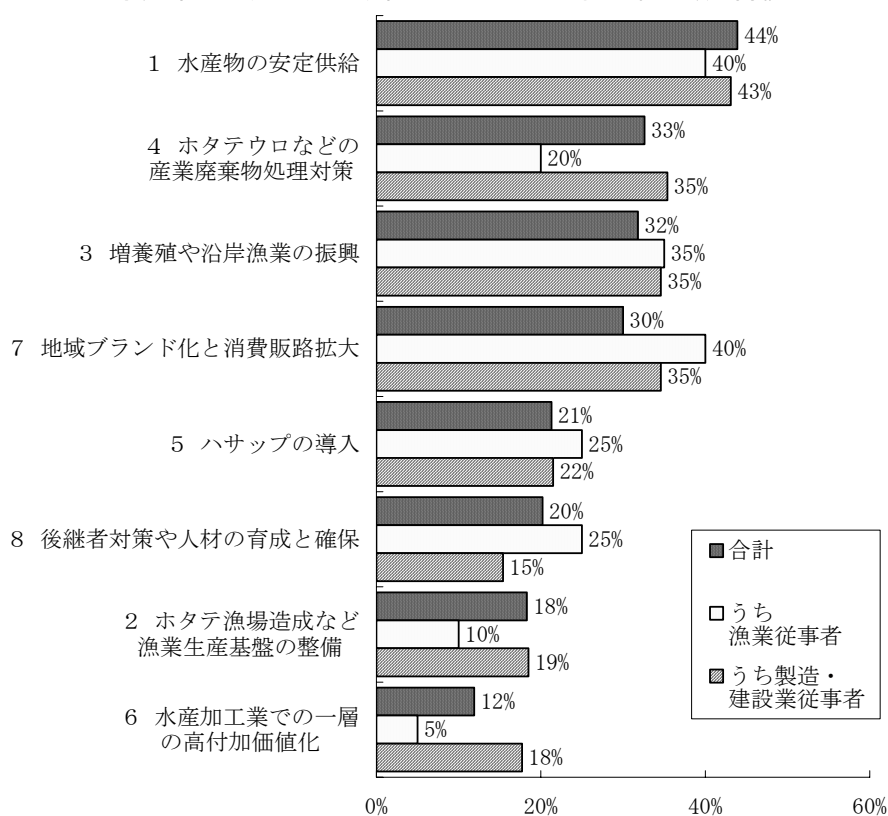
問21 水産業において、これから特に何に重点をおいて取り組むべきとお考えですか。【〇は3つまで】

	問3 職業（再区分）				合計	
	漁業(自営・雇われ)		製造・建設業			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 水産物の安定供給	8	40.0%	56	43.1%	504	43.9%
2 ホタテ漁場造成など漁業生産基盤の整備	2	10.0%	24	18.5%	210	18.3%
3 増養殖や沿岸漁業の振興	7	35.0%	45	34.6%	365	31.8%
4 ホタテウロなどの産業廃棄物処理対策	4	20.0%	46	35.4%	374	32.6%
5 水揚げから加工段階までの国際水準の衛生管理体制（ハサップ）の導入	5	25.0%	28	21.5%	244	21.3%
6 水産加工業での一層の高付加価値化	1	5.0%	23	17.7%	136	11.9%
7 地域ブランド化と消費販路拡大	8	40.0%	45	34.6%	344	30.0%
8 後継者対策や人材の育成と確保	5	25.0%	20	15.4%	232	20.2%
9 その他	0	0.0%	2	1.5%	31	2.7%
10 わからない	1	5.0%	9	6.9%	130	11.3%
無回答	3	15.0%	5	3.8%	50	4.4%
合計	20	100.0%	130	100.0%	1,147	100.0%

水産業で重点的に取り組むべきことについては、「水産物の安定供給」が44%で割合が最も高く、「ホタテウロなどの産業廃棄物処理対策」や「増養殖や沿岸漁業の振興」が続いています。

水産業従事者は「地域ブランド化と消費販路拡大」が40%と、回答者全体の30%より高い割合になっています。

水産業で重点的に取り組むべきこと（割合が高い順に掲載）



問 22 あなたは、紋別産の農林水産物の地元消費（地産地消）を進めていくには、特に何に重点を置くべきだと思いますか。【〇は2つまで】

	問 3 職業（再区分）						合計	
	農林水産業		製造・建設業		商業・金融・サービス業			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 地元消費者への地域産品に対するPR	26	59.1%	73	56.2%	108	63.9%	683	59.5%
2 全国流通品と競争できる品質・価格形成	19	43.2%	63	48.5%	91	53.8%	530	46.2%
3 全国流通品に負けない見栄え・外見	1	2.3%	9	6.9%	4	2.4%	42	3.7%
4 全国流通品に負けない品揃え・数量の確保	7	15.9%	21	16.2%	21	12.4%	174	15.2%
5 地域産品を扱うお店を増やす	12	27.3%	47	36.2%	60	35.5%	410	35.7%
6 その他	5	11.4%	2	1.5%	5	3.0%	35	3.1%
7 わからない	2	4.5%	8	6.2%	4	2.4%	61	5.3%
無回答	4	9.1%	4	3.1%	3	1.8%	51	4.4%
合計	44	100.0%	130	100.0%	169	100.0%	1,147	100.0%

地産地消の推進方策については、「地元消費者へのPR」が60%で割合が最も高く、次いで「全国流通品と競争できる品質・価格形成」が46%、「地域産品を扱うお店を増やす」が36%となっています。

農林水産業や製造・建設業、商業・金融・サービス業などの各分野の従事者も、回答者全体と、回答の傾向に大きな差はみられません。

地産地消の推進方策（割合が高い順に掲載）

